

シンポジウム

# 性感染症と市民との公衆衛生コミュニケーション

## シンポジウムの趣旨

梅毒の感染拡大が社会問題化するなど、性感染症対策は喫緊の公衆衛生上の課題となっています。性感染症に対する公衆衛生政策は、性教育の充実化、予防対策の普及、ハイリスク集団へのアプローチ、スクリーニングの簡便化・強化、パートナー通知に関するガイド、差別や偏見をなくするための社会的支援など、多岐にわたります。これらのどれも、公衆衛生倫理ならびに市民コミュニケーションからのアプローチが欠かせません。

そうした中、東京大学生命倫理連携研究機構、東京大学教養学部附属教養教育高度化機構・社会連携部門、アドテック株式会社は共同で、性感染症と市民コミュニケーションに関する研究を実施しています。この度、性感染症対策に造詣の深い先生方3名を招聘し、梅毒、HIV感染対策と市民コミュニケーションをテーマとしたシンポジウムを下記の通り開催することにいたしました。

**日時** 2025年3月12日（水）15時00分～17時00分

**場所** 東京大学本郷キャンパス伊藤国際學術センター3階中教室  
**ウェブ**

## 瀧永博之先生

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター・センター長  
「梅毒・HIVの疫学と公衆衛生の取組」

## 西塚至先生

東京都保健医療局・感染症対策調整担当部長  
「東京都における性感染症（梅毒・HIV）対策」

## 古瀬祐気先生

東京大学・国際高等研究所新世代感染症センター・教授  
「感染症対策・公衆衛生活動の経験」

## 共同主催

東京大学生命倫理連携研究機構  
東京大学教養学部附属教養教育高度化機構・社会連携部門  
アドテック株式会社

## 参加登録

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfLqytpa4dJ8lrXMSzUrmvte\\_ciEHRU6lYE3u-B54TZ5VkcQ/viewform?usp=dialog](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfLqytpa4dJ8lrXMSzUrmvte_ciEHRU6lYE3u-B54TZ5VkcQ/viewform?usp=dialog)

